

第125回 薬事エキスパート研修会
 喘息およびアレルギー疾患治療の進歩と将来展望
 —新しい潮流から新規治療薬の開発へ向けて—

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
 後援 日本製薬団体連合会 日本 OTC 医薬品協会 日本 CRO 協会
 日本製薬工業協会 日本ジェネリック製薬協会 社団法人日本医薬品卸業連合会
 社団法人東京医薬品工業協会 米国研究製薬工業協会(PhRMA) 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
 大阪医薬品協会 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 公益財団法人 MR 認定センター

喘息は、気道の慢性炎症を基本病態とする慢性疾患で、その発作には種々のアレルゲンによるアレルギー性炎症が関与しており、免疫グロブリンの IgE が介在するアレルギー反応が重要な役割を果たしているといわれています。

その治療としては、長期管理薬と発作治療薬の併用が標準となっていますが、吸入ステロイドの一般的使用による発作予防効果に加え、近年、喘息治療薬として抗体医薬品が製造承認を取得する等、特に重症の喘息患者さんにおける長期管理に期待が大きいとされています。

そこで今回、当財団の薬事エキスパート研修会「疾患領域別診断治療と臨床開発の実際と留意点について」シリーズに、喘息とアレルギー疾患を取り上げました。当該疾患領域分野の臨床専門家、最近この分野の新薬開発を手がけた企業の方を招き、改めて診断・治療の概説と新しい抗体医薬品の開発進歩による可能性およびワクチン開発の可能性等について、それぞれご講演を頂き、最後に今後のアレルギー喘息に対する新薬開発の現状や課題等について議論頂くこととしております。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成 24 年 10 月 3 日(水) 13:00～17:05	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は財団ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法

=オンライン=

受講希望の方は財団ホームページより申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) 研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には入金確認メール(受講票)を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- ・法人会員 1名につき 10,000 円
(法人会員は1口につき4名が会員扱い)
- ・個人会員/非会員 1名につき 15,000 円
- ・行政/アカデミア/医療機関/学生 1名につき 3,000 円

なお受講者の方は、以下の書籍を特別価格でご購入頂けます。ご希望の方は、申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

- 知っておきたい薬害の知識
—薬による健康被害を防ぐために— 1,700 円
- 知っておきたい薬害の教訓
—再発防止を願う被害者からの声— 2,300 円

3. 注意事項

- 振込依頼書のご依頼欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- 参加申込後 1 週間以内にお振込みください。
- オンラインでの参加申込は研修会開催日の 10 日前までとなります。それ以降のお申込みは電話でお問い合わせください。
- 事前に申込み、受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- 現金送金をご遠慮願います。
- 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

問い合わせ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
 一般財団法人
 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
 薬事エキスパート研修担当
 電話 03-3400-5644

第125回 薬事エキスパート研修会
喘息およびアレルギー疾患治療の進歩と将来展望
－新しい潮流から新規治療薬の開発へ向けて－

平成24年10月3日(水) 日本薬学会 長井記念ホール
(受付開始予定 12:00)

13:00～13:05 開会挨拶

寺尾 允男
(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

13:05～14:05 喘息の診断と治療における新しい潮流－現状と将来展望－

大田 健
(独立行政法人国立病院機構東京病院院長)

14:05～15:05 アレルギー疾患治療薬開発のための評価

大久保 公裕
(日本医科大学耳鼻咽喉科教授)

15:05～15:20 休 憩

15:20～16:05 抗体喘息治療薬(抗IgE抗体薬、ゾレア®)開発の経験から

山本 学
(ノバルティスファーマ株式会社開発本部臨床研究
第二部シニアクリニカルリーダー)

16:05～17:05 総合討論

共同司会：野口 隆志(昭和大学薬学部臨床薬学教室客員教授)
土井 脩(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事長)